

読者の作品



栃木・宇都宮市 狐塚節子



東京・葛飾区 伊藤順子



京都市 川口字



茨城・つくばみらい市 なっちい



茨城・石岡市 末永明美



福岡・大牟田市 吉田真由美



兵庫・加古川市 竹田和世



三重・津市 山際尋子



国会前でスタンディング。昨年の新婦人「11・27次世代国会行動」で

各地で続々と開かれていく次世代国会行動の報告会。次世代の熱い思いに、ベテラン世代も次のアクションにつなげようと動き始めています。

次世代とともに

新しい変化に

ワクワク

和歌山

行動を力に

和歌山・日高支部から学校給食費無償化やオーガニック給食実現の要求を持って初参加した嶋田奈津子さん(43)は、12月14日の県本部委員会で行動の様子を写真で示しながら報告しました。「地元だと孤独を感じるときもあるけれど、全国にがんばっている人たちがいる。子どもたち

のためにも自分たちのためにも活動するのを忘れたらあかんで、と思う体験になりました。」

福井

国会に行きたい

福井県からは20代を含む3人が初めて参加しました。選挙ボランティアをきっかけに会員となつた大町玲奈さん(28・仮名)は「国会行動に参加できるよ」と呼びかけられて11月半ばに入会し、1週間後には国会行動へ。「政治について当たり前に話せる人たち

の熱気がすごかった。」

全国と情報を共有しながら、これからもつながりたい。」

県本部は12月21日に、昨年の国会行動参加者とベテラン世代が集まり、報告交流会をおこないました。県本部事務局長の藤岡ひとみさんは言います。「国会行動にも次世代ミニ交流にも次世代を誘い続けて、福井でもっと次世代が集まれるようになりましょう。国会での議員要請や省庁交渉を生きいきと報告する次世代会員の姿に変化が見え、ベテラン世代もワクワクしています。平和やジェンダー、それぞれの思いを持ち寄り、これから学習し運動につなげ、さらに仲間を増やしたい」

2025年も次世代の国会行動や原水爆禁止世界大会への代表派遣が予定されています。署名行動やスタンディング、選挙など運動で出会った次世代に思い切つて新婦人を紹介し、働きかけたり、今つながっている次世代を直接体験に送り出すことでさらに次の行動へ。新たな可能性に期待が広がります。